

クラス番号	904	ゼミタイプ	サービスラーニング型（コミュニティ）
		担当教員名	部田かね代
テーマ	半田市内にあるNPO法人ひだまりの3つの拠点をフィールドにして行政や地域住民・社会福祉法人等との他職種・他機関連携を考える。		
ゼミナール概要			
目的、内容、方法等： 目的 ①電話・メール等でのやり取りや訪問時の応対等関係者との連絡調整を通して、次年度以降の実習・就活に役立つ社会人としての基本的なマナーを身につける。 ②行政・地域住民・NPO等それぞれの視点からの役割について学び、地域課題を見つけ解決の方策を講じる。 内容方法等 ①デイサービスや喫茶・各種教室での活動を通じて利用者・職員のニーズを把握しどのような支援があれば良いかを考え提案する。 ②ひだまりが運営するワンルームマンションに居住する健常者や障がい者・高齢者等様々な居住者の背景を理解するとともにマンションに併設する社協の相談コーナーや行政との協働事業である認知症カフェを通じて行政への理解を深めるとともに自分達がどのようにかかわっていけるかを検討し実践する。 授業計画 ＜前期＞ ① ひだまりの活動内容について理解する。 ② 高齢者・障がい者・認知症等について理解する。 ③ ひだまりの活動に関わっている関係機関について理解する。 ④ 半田市並びにひだまりの現状について学び課題の抽出をする。 ⑤ グループ分けと活動先について調べ課題解決の為の見立てをする。 ⑥ 活動日・活動内容等について活動先担当者の了承を得る。 ⑦ 活動の為に必要と思われる事前調査や準備をする。 ＜夏休み＞ ①グループ毎に活動に参加 ＜後期＞ ① 活動の振り返りと報告会に向けての資料作り。 ② 研究課題の決定とグループ作り。 ③ 1年間のまとめと成果発表。			
担当教員からのメッセージ			
地域には法人・任意を含めて様々な団体が、行政だけに頼る事無く、団体ごとの理念の持って地域課題に取り組んでいます。 活動を通じて支援される側・支援する側双方の視点から見る事により、学生の立場でどのような提案・実践ができるかを考えて行きましょう。 また、活動中に行政・社協・特養等の福祉施設関係者との交流の機会を持ち自身の今後に役立てましょう。			